

希望の丘

平成30年6月1日 文責 校長 田口浩幸

梅雨の季節

先日(5/28)に気象庁が、九州北部地方の梅雨入りを宣言しました。平年より8日、昨年より23日早い梅雨入りだそうです。校長室から見上げる番岳もかすんで見えなくなる日が多くなります。



この時期の長雨がなぜ「梅雨」と呼ばれるかについては、諸説あります。よく言われるのが、梅の実が熟す頃に続く雨だからという理由が一般的なようです。他には、梅雨というとしめじめとして、いたるところにカビが生えやすくなりますが、その様子から「黴菌(ばいきん)」の「黴(ばい)」という字があてられ「黴雨(ばいう)」と記述されるようになり、そこから変化して「梅雨」になったという説もあるそうです。どうしても梅雨には「うとうしい」とか「じめじめして」とかのマイナスのイメージがつきものです。

しかし、この梅雨という時期があるおかげで、日本を含む東アジアで稲作が行われるようになったともいわれています。日本の米の文化は梅雨によってできたといえるでしょう。

ところで、私にはこの梅雨の季節になると思い出される好きな詩があります。

雨のうた

鶴見正夫

あめは ひとりじゃ うたえない
きっと だれかと いっしょだよ
やねと いっしょに やねのうた
つちと いっしょに つちのうた
かわと いっしょに かわのうた
はなと いっしょに はなのうた

あめは だれとも なかよしで
どんな うたでも しってるよ
やねで とんとん やねのうた
つちで ぴちぴち つちのうた
かわで つんつん かわのうた
はなで しとしと はなのうた

うらめしく思ったり、うとううしかったりする季節ではありますが、巡ってくる季節に感謝するとともに、それを楽しむゆとりを持ちながら過ごしていきたいものです。そして、子供たちには元気にこの梅雨を乗り切ってほしいです。

運動会ありがとうございました!

先月20日に、平成30年度の運動会を行いました。当初13日の予定でしたが、雨により延期となってしまい、多くの方にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。



そのような中ご来賓並びに、保護者の皆様、地域の皆様には、数多くご来場いただき、盛大に運動会を開催することができました。

104名の一人一人が、「全力で心ひとつにゴールまで」のテーマのとおり、最後の閉会式まで心を一つにして競技に係の仕事にとしっかりと頑張ることができました。終日にわたって温かいご声援並びに準備・後片付け等大変お世話になりました。ありがとうございました。



ようこそ先輩!

5月18日から6月8日までの15日間、養護教諭の免許を取得するために、本校の卒業生である田●琴●さん(H22年度卒業生)が教育実習に来てがんばっています。先日、2年生に歯の磨き方の授業を行いました。落ち着いた立派に授業を進めていました。



6月主な行事

- 1日(金)・・・フール清掃
- 7日(木)・・・児童集会(少年の主張リハーサル)
- 7日(木)～8日(金)・・・野外宿泊学習(5年生)
- 10日(日)・・・少年の主張大会(平戸文化センター)
- *6年生の池田竜盛君が本校の代表として「明るい平戸へあいさつ日本一」という題で発表します。応援をよろしくお願いいたします。
- 14日(木)・・・授業参観
- 15日(金)・・・フール開き
- 17日(日)・・・家庭の日
- 22日(金)・・・山田小との交流会(6年生)
- 26日(火)・・・スマイル活動・クラブ
- 29日(金)・・・白山相撲